2015年3月12日　No.42　　発行責任者 鵜島 一広

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第42号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方部
104-0031 東京都中央区京橋3－6－3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

郵政本社に期間雇用の社員の声届ける

3・2郵政本社要請行動

3月2日、郵政産業労働者ユニオンと郵政倉敷労働組合でつくる「郵政労働運動の発展をめざす全国共同会議」は、非正規社員の均等待遇と正社員化を求めて郵政本社前で要請・集会を開き、その後、衆院第2議員会館で、非正規社員が国会議員に思いを訴え、労働契約法20条のミニ学習会を開きました。

本社前には支援の全労連、全労協など200名が集まりました。集会に先立ち、「非正規の正社員化と均等待遇を求める」署名2万8426筆を5名の期間雇用社員がそれぞれ思いを語り、直接本社に手渡しました。これまで本社に届けた署名は累計17万3899筆となりました。

日巻本部委員長は主催者あいさつで、差別是正を求める労働契約法20条裁判にふれ「このたたかいが、郵政に働く非正規だけでなく日本の非正規労働者の均等待遇を求める第一歩となる」とし、全力でたたかおうと訴えました。

講演する竹信教授

右から共産・田村、梅村衆院議員、吉良参院議員、民主・鈴木衆院議員

衆院第2議員会館で開かれた院内集会では、衆院議員から、民主党の鈴木克昌議員、共産党の梅村さえこ議員、田村貴昭議員、参院議員から共産党の吉良よし子議員が参加。全国から集つまった非正規社員30名は「ちょっとしたミスでも机をたたいて怒鳴られる」「事故があっても正社員には何にもないが、非正規社員はスキルを下げられ時給が下がった」など、職場のパワハラや日ごろの思いを訴えました。ミニ学習会では、労働契約法20条裁判の「支える会」共同代表の竹信三恵子さん（ジャーナリスト・和光大学教授）が裁判の意義をお話しされました。

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか